

2022 年度オンラインサマープログラム (各協定校等主催) 参加学生募集要項

2022.2

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ずウェブサイトで確認すること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-onlinesummer1.html>

1. 概要・趣旨

本募集要項により、協定校等が主催するオンラインプログラムに参加する学生を募集する。今回は、別添 1 「募集プログラム一覧」に記載されたプログラムおよびコースへの派遣学生を募集する。今回は、オンラインで開催されるプログラムの募集を行う(当面の間、渡航を前提とした短期プログラムについては、募集しない)。参加を希望する学生はそれぞれのプログラムやコースに直接応募する必要があるが、本学を通して応募した場合、以下のような利点がある。

- ① 本学から情報提供や手続きのサポートを受けることができる。
- ② 一部プログラムでは、本学学生が対象の授業料の割引を受けることができる。
- ③ 本学と協定校間の授業料免除に基づく派遣枠に優先して推薦される(一部大学主催のコースのみ。今回は現状募集なしの予定)。

2. 募集対象プログラム

(1) IARU Courses <http://www.iaruni.org/for-students/iaru-courses/iaru-courses-2022>

・世界トップレベル IARU 加盟 11 大学の提供するサマープログラム

*IARU (イアルー: International Alliance of Research Universities、国際研究型大学連合)

将来のグローバルリーダーを養成する世界トップクラスの 11 の研究型大学からなる大学連合。研究・教育の様々な連携を行うことを目的として 2006 年 1 月に設立された。IARU 加盟大学は日本では本学のみ。

(2) Deutschkurse - Learn German in Munich <https://www.dkfa.de/en/>

・ミュンヘン・ルートヴィヒ=マクシミリアン大学 (LMU) が提供するドイツ語集中コース

詳細は、別添 1 「募集プログラム一覧」および各プログラムやコースのウェブサイトを確認すること。今後情報も更新される可能性が高いため、最新情報は必ず別添 1 に加えて各プログラムやコースのウェブサイトで確認すること。

3. 資格・条件

以下の資格・条件をすべて満たすこと。

- (1) 各プログラムおよびコースが求める条件を満たすこと。プログラムやコースによっては学年・専攻分野・英語能力等の条件が設けられている場合があるため、各自ウェブサイトで確認すること。また、各プログラムおよびコースの受入可否は、最終的には主催大学が判断する。
- (2) 申請時に本学の学部又は大学院の正規課程に在籍しており、プログラム参加期間中を通じて在学する者。(プログラム期間中に休学中の者は参加できない。)
- (3) 主催大学から付与される単位は、必ずしも本学の単位への振り替えが保証されるものではない。本学での単位の取り扱いに関しては、プログラム参加時に所属する学部/研究科で事前に確認すること。
- (4) 本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はない。本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。
- (5) 参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に

報告し、了承を得た上で UTAS の申請書の所定の欄に了承を得た日付を入れること。(上記に該当する教員等がない学生は、所定の欄に「指導教員なし」と入力すること)

- (6) プログラムへの応募手続き等は、英語を使用し、学生本人の責任で、ウェブやメールを通じて海外大学に対して直接行うことになる。このため各種提出書類の準備や締切日の確認等を自ら主体的に行える者であること。

4. 費用

授業料・申請費等、参加に要する経費は自己負担となる。

授業料については、プログラムやコースによって、不徴収(無料)や割引制度がある場合もある。自己負担費用の目安は「別添 1 募集プログラム一覧」の項目「Estimated Program Fees」を参考にするとともに、詳細を各プログラムおよびコースのウェブサイトを確認すること。

5. 奨学金

本プログラムに奨学金は付属しない。以下の奨学金には、別途申請可能となる予定。

- ・ DESK 奨学金 (LMU のプログラムのみ・4 月以降募集開始予定)

<http://desk.c.u-tokyo.ac.jp/j/index.html>

・参加者は、東京大学のオンラインプログラム参加補助の奨学金に応募できる可能性がある。詳細は 4~5 月頃に通知予定。

6. 募集期間

2022 年 2 月 9 日 (水) ~ 3 月 17 日 (木) 正午

- ※ 募集期間外は、電子申請システムは閉じられるため、申請できない。また大きな不備のある申請は、締切前に申請を完了しても受理されない。
- ※ 東京大学の募集期間は各コースが定める申請締切と異なるため、注意すること。

7. 選考

- (1) 東京大学グローバルキャンパス推進本部で学内選考(書類審査)を行う。
- (2) 選考結果は、Eメールで学生本人及び所属部局担当部署に通知する。
- (3) やむを得ない事情で申請を取り下げの場合には、遅滞なく本部国際交流課へ知らせること。

8. 学内選考通過~プログラム参加決定後の留意事項

【プログラム参加手続き】

参加手続きは、主催大学の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とする。

【学内での手続き】

- (1) 指導教員等の関係者には事前に連絡し、本プログラムへの参加を伝えること。本学の授業を優先し、関係者に迷惑をかけないように努めること。
- (2) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、早急に本部国際交流課 (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp) に連絡すること。
- (3) そのほか、東京大学・主催大学が指示する注意事項に従うこと。

9. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は、東京大学を代表する立場にあることを自覚し、主催大学の規則、規程、マナー等を遵守す

ること。

10. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から2週間以内（必着）に本部国際交流課が定める報告書（所定様式）と成績証明書または修了証等を本部国際交流課へ提出すること。
- (2) 応募フォームに記載の電話番号・Eメールアドレスに変更があった場合は、直ちに本部国際交流課へ連絡すること。
- (3) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、東京大学の国際化に関する業務への協力（留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

11. 問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) 申請手続きに関すること：
東京大学本部国際交流課 学生派遣チーム (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)
- (2) 授業・試験日程、単位認定、その他本学での学務関係の事項：
応募時及び参加時の所属部局の担当部署
各部局の担当部署一覧
<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>
- (3) プログラム内容の詳細等：
別添1に記載の各プログラムおよびコースの問い合わせ先

12. 応募方法・応募書類

- (1) 本部国際交流課への申請と同時に、参加を希望するコースへの応募を進めてもかまわない。
 - ※ 主催大学への応募が別途必要となるため、募集締切が早いプログラムおよびコースや、参加人数が限られたプログラムおよびコースへの参加を希望する場合は、並行して主催大学への応募を行うことを勧める。
 - ※ 本学からのサポートを受けるためには、主催大学から受入許可を得るだけでなく本募集の申請を完了させる必要があるため注意すること。
- (2) 応募締切日までに学務システム（UTAS）からの電子申請を完了させること。
 - ※ UTASの『2. 基本情報』及び『4. 家族等関係者の連絡先【日本国内の緊急連絡先】』は申請画面では記入・変更できない。そのため空欄または変更が必要な場合は、応募時の所属部局の担当係に記入・修正方法を確認し、正しい内容を記入した状態で申請すること。
 - ※ 『6. プログラム中の所属・学年』指導教員等氏名について、いない場合は「なし」と記入すること。
- (3) UTASの『8. 参加希望プログラム』では、最大第三希望までコースを選択できる。複数のコースへの参加を希望する場合は、その旨を『11. 特記事項』で明記すること。
- (4) YAL - Yale Summer Session、UCB - Berkeley Summer Sessions および LMU への参加を希望する場合は、参加したい具体的なコースと Session を『8. 参加希望プログラム』の「備考」欄に記載すること。
(例：Yale Summer Online, Session B 等)
- (5) UTASの『15. 連絡先メールアドレスについて』『16. 募集要項に記載の事項について』について、UTAS申請画面上青字の指示通り確認・入力すること。
- (6) 本プログラムの申請には、語学能力証明書の提出を不要とするが、プログラムによっては、語学能力証明書が必要なため、各自の責任においてプログラムへの申請までに準備すること。
- (7) 電子申請時に『18. 添付資料』でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

提出書類	対象者	提出方法・備考
・学外成績証明書	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で学位を取得した者が該当する。
・パスポート顔写真ページの写し	不要	
・語学能力証明書	不要	
・誓約書	全員	指定書式（ダウンロード）を 記入・署名後 スキャンした PDF を『18. 添付資料』へアップロード。

【電子申請応募先】

学務システム（UTAS）にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申し込むこと（「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと）。

◇ 学務システム（UTAS）：<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

◇ 海外派遣プログラム申請の手引き（PDF）：<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400099994.pdf>

【申請書類指定書式のダウンロード先】

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-onlinesummer1.html>